

FUKUSHIMA 市民 インタビュー

学生の力で地域を守る!!

大規模災害時の後方支援を担う
福島市消防団機能別学生団員

新入団

大沼 泉里 さん
佐藤 芽維 さん
に聞きました!



佐藤芽維 さん

大沼泉里 さん

🐰 入団のきっかけは?

(大沼さん) 大学の授業で消防団に関するお話を聞いたことがきっかけでした。私自身が入団することで、地域の事を知ったり、地域に貢献することができればいいなと思いました。

(佐藤さん) 私自身、地域の行事に参加することが多く、その行事に参加する消防団員の方々を見て消防団という存

在を身近に感じていました。

一方で、地域と消防団員の方々が具体的にどんな関わりを持っているのかを知らなかったで、間近で知ることができるとは思いませんでした。

🐰 入団することを家族に話した時の反応は?

(佐藤さん) 家族の中に消防団に入団している者はいませんでしたが、そんな家族に話をした時は「オォー!!」と驚いていました。

🐰 これからの活動への意気込みは?

(大沼さん) 入団のきっかけでもある、地域について知ること、また、地域に貢献する活動を頑張りたいです!!

(佐藤さん) 学生団員の一人として防災意識や知識が必要になると思うので、知識を深めて多くの人に発信していきたいです!!

🐰 将来の夢は?

(大沼さん) 英語の教員になりたいです。教員という立場上、防災に関する知識も必要になると思うので、学生団員の活動を通じて勉強していきます。



▲これからの活動にやる気みなぎる2人

【消防団員募集】

近年、消防団員数は減少傾向にあり、高齢化も進んでいることから、将来の担い手となる若い団員の確保に取り組んでいます。入団したい方、興味がある方はお問い合わせください。



■問／消防総務課

☎534-9107



We Love❤️ふくしま!
第41回『思いやりでコロナ禍を乗り越えよう』

東京2020オリンピックが、数々の感動を残し閉幕しました。ソフトボールと野球は、福島で勢いをつけ日本が金メダル。選手・監督らは、福島のももやおもてなしに好意的な発信をしてくれました。

思い描いていた復興五輪にはなりませんでした。選手らの福島への思いや閉会式に流されたオリンピック・マーチをエールとして、今後も遺産づくりに努め、復興を前進させてまいります。

一方、新型コロナの感染拡大が止まりません。多くの都道府県で新規感染者の過去最多を更新し、医療ひっ迫度は深刻さを増すばかりです。

デルタ株への置き換えが主因ですが、コロナ禍の長期化で、緩みが出てきている面も否めません。親族や知人が集まる会合やバーベキュー、東京などへの行楽や帰省、換気の悪い場での懇談…感染拡大の背景には、大抵リスクの高い行動

があります。

ワクチン接種が完了した方に、解放気分も見られます。ワクチン接種の効果があるのは確かですが、感染しないわけではありません。本市でも、2回完了し十分時間が経った方でも感染が確認されています。

デルタ株の感染力は従来株の2倍と言われています。この強力な感染力に対抗できるよう、今一度、気を引き締め、感染防止を徹底してください。

その際ぜひ、『自分の大切な人を守る』、『子どもたちを守る』、という温かい思いやりをもって、耐えてほしいと思います。12歳未満にはワクチン接種ができません。一人に感染しただけで、学校や保育所全体が休みとなり、心身の成長の機会が奪われるなど、影響が大きいのです。

一方、十分な対策をとっていれば、可能な活動も少なくありません。新型コロナとの闘いは更なる長期化を覚悟しなければなりません。正しく恐れ、可能な活動を徐々に広げていくことが重要です。

思いやりをもって、コロナを乗り越え、希望の未来を開いていきましょう。

福島市長 木幡 浩